

イノシシ対策は

有害鳥獣対策のイノシシ捕獲事業について、令和3年度捕獲の見込み頭数が激減しているが、豚熱の影響なのか。また、全体予測数の見解は。

豚熱により、捕獲を停止した結果、年間の捕獲頭数が、令和2年度の約2400頭から令和3年度は約1500頭へと大幅な減となりました。その後、捕獲が再開され、興隆寺地区の事例では、12月〜3月の昨年対比で捕獲数が半減しており、豚熱の影響で生息数が減少している可能性もあります。

運転免許返納サポート

免許を自主返納した方への市内コミバス等の無料利用券を配布する期間が、1年間から3年間に拡充されたが、その期間設定の根拠と、以前に返納された方への対応は。

高齢者の免許証有効期間が3年であることを考慮して、その期間に合わせ設定しました。1年前に返納された方は、2年間で対象となります。更なる期間延長等の制度拡充について、今後検討していきます。



放棄空き地対策は

管理ができていない空き地が増えている。草木等伐採の苦情相談はどの程度か。

令和2年度50件、3年度53件の相談がありました。昨年相談を受けた中で約63%が解決しています。人口減少に伴い、管理されていない空き地が増えると想定されている。今後、迷惑が掛かっている市民への対応は。今よりもう一步踏み込んだ対応ができるか、他自治体の取組を検証し、検討します。



小中学校の空調整備は

小中学校の特別教室に空調整備を実施する背景と詳細は。

普通教室に新型コロナウイルス感染症対策が講じられている状況を踏まえ、未整備の特別教室に、安全な学びの場の確保・学校施設環境衛生における環境づくりを目的として整備を実施します。小学校8校25教室、予算額1億92万円、中学校4校19教室、予算額8900万円です。令和4年夏休み頃から順次整備予定です。

小学校体育館は災害時の避難場所に指定されているが空調整備は行わないのか。体育館は空調を設置せず、令和2年度に設置した換気扇で対応します。

小中学校の新たな学びは

2024年からデジタル教科書の導入を文部科学省が公表しているが、ペーパーレスが本格化するのか。

デジタル教科書ばかりになるのではなく、従来の紙媒体での教科書も必要と認識し、活用していきます。

インターネット、WiFi環境のない家庭への補助は行うのか。現在はコロナ禍という特別な状況であることから補助を行っていますが、平時は考えていません。

コロナ禍でのスクールバスは

コロナ禍で密を避けるためのスクールバス運行は、どれくらい増えているのか。また、今後の予定は。

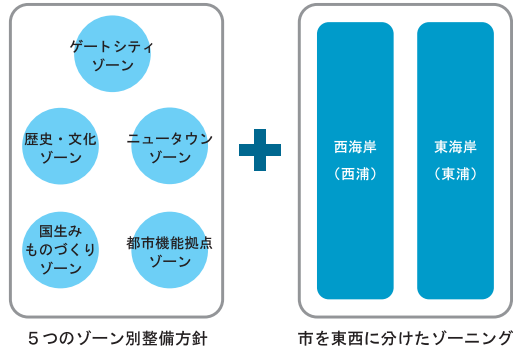
密回避のため、定員50%を目途に対応しています。小学校スクールバスは、これまでの20ルート20台を34台へ増便しています。なお、中学校スクールバスでは、3ルート3台を4台へ増便しています。これからの予定については、予算議決後、状況を見て対応する予定です。



総務文教常任委員会

基本構想の変更および基本計画の制定

【主な質疑】 何のためなのか、具体に見えない。基本構想を変える必要はあったのか。 市の方向性を示すものであり、これまでの5つのゾーン別に東西を分けたゾーニングのプランを追加しています。 他市の例では、5年とか7年とかもある。10年は長いのではないか。 将来像を示すもので、本市では10年としています。前期、後期として、5年スパンで見直しをしています。



市有地の売却 (夢舞台サステイナブルパーク)

売却価格：20億1470万円 相手方：(株)パソナグループ

【主な質疑】 市は常に情報共有と言うが、地元町内会に、何の説明もない。影響を受ける地元説明が必要でないのか。 夢舞台内の企業、団体が構成する「夢舞台創造委員会」等の意見を伺い、構想を作成しました。相手企業には地元説明を促します。

【問】 活性化には反対しない。地元は交通渋滞を懸念する。田の代交差点からの4車線化を国、県に求めるべきでは。 【答】 市単独で対応できる問題ではないので、住民生活に迷惑とならないよう、働き掛けたいと思います。

産業厚生常任委員会

市営漁港駐車場の有料化の条例

【主な質疑】 駐車場を有料化する理由は。 休日には観光客や釣り客等の利用により満車となり、岩屋漁港内の道路や施設への迷惑駐車が増加し、漁業活動に支障を来しています。 利用している岩屋漁協から要望を受け、協議の結果、受益者負担の原則に基づき、駐車場を有料化することで迷惑駐車を防止し、近隣有料駐車場利用者との公平性の確保と、港内の正常化を図ります。

【問】 ゲートの設置場所、駐車台数は。 【答】 現在の駐車可能台数と同じく70台を予定しています。 ゲート位置は国道から漁港に進入する入り口に設置予定です(下段の図参考)。

ほ場整備工場の請負契約 (野島常盤)

契約金額：1億7679万円 相手方：(有)松本住宅設備

【主な質疑】 整備する経緯は。 新たな担い手や農業に参入を希望する事業者にも利用しやすい環境を整備することで、農地の有効的な活用を図り、安定的な農業経営の継続と長期的な農村環境の保全を確保するためです。 【問】 既に決定している参入事業者は。 【答】 (株)パソナグループ、淡路島ぐるめ屋、池上農場の3社です。

